

レトロフィット EV バスの運行を開始 ～池袋駅西口発の路線にて関東では初運行～



乗合バス・貸切バス・ホテルなどの事業を展開する国際興業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：黒滝寛）は、レトロフィット EV バス*1を当社池袋営業所へ導入し9月9日より関東では初となる運行を開始いたしました。

レトロフィット EV バスは、当社において約13年間、約51万km走行したディーゼルエンジンのノンステップバスをEV化した車両です。台湾最大手の電気バスメーカーRAC Electric Vehicles Inc.（本社：台湾桃園市）が改造を実施し、住友商事株式会社および住友商事パワー&モビリティ株式会社（本社：東京都千代田区）の全体統括と西日本鉄道株式会社（本社：福岡県福岡市）および西鉄車体技術株式会社（本社：佐賀県三養基郡基山町）の技術協力を受け、いすゞ製バスでは初のEV化改造を実現しました。

また、今回の車両導入にあたり、当社池袋営業所へ新たに急速充電器を設置いたしました。

当社は今後も、電動車導入など脱炭素化に向けた取り組みを推進し、2050年カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

■レトロフィット EV バス・充電器の概要■

【運行開始日】 2024年9月9日（月）

【運行系統】 [池20]池袋駅西口～高島平操車場、[池21]池袋駅西口～高島平駅
運行ダイヤは当社HPをご覧ください。（URL：https://5931bus.com/news_details/id=3754）

【車両概要】

- 車両型式：いすゞエルガ ノンステップバス PKG-LV234L2（平成22年式）
- 駆動用機器：駆動用リチウムイオンバッテリー（容量280kW）、電動モーター（最大出力320kW）
- EV化改造会社：RAC Electric Vehicles Inc.

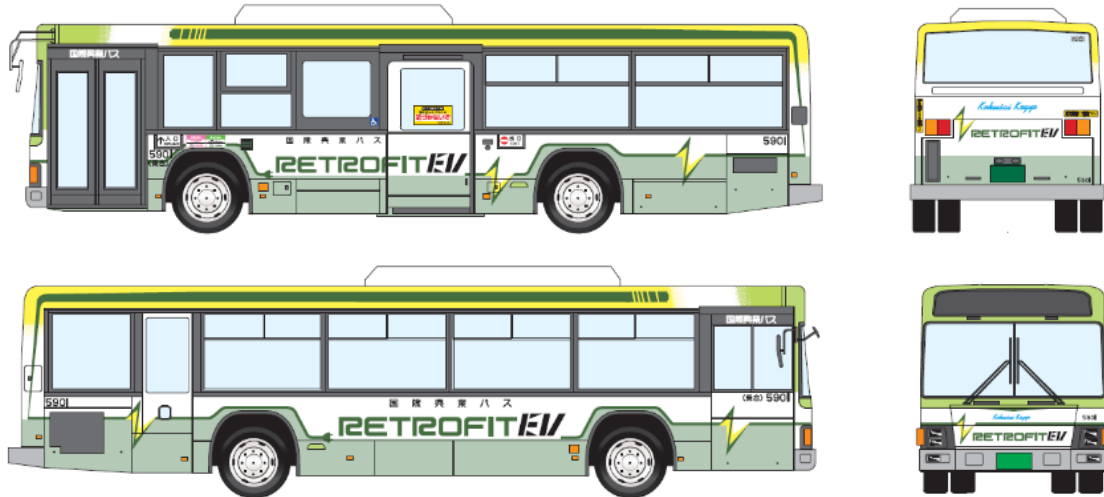
【充電器概要】

- 製造：車王電子（Mobiletron Co., Ltd.）
- 型式：CG-008（60kW）、充電口2口
- 充電方式：CHAdeMO 準拠

■ラッピングデザインのコンセプト■

○ひと目で「レトロフィットEVバス」と分かることをコンセプトに車体ラッピングを施しました。

- ✓『電気』 全体的に黄色を配色するとともに「雷」や「電池」を模したマークを配置。
- ✓『充電コード』 曲線デザインにより充電コードをイメージ、弊社既存の直線的な塗装との違いを強調。
- ✓『レトロフィット』 当社の伝統的な若草色のカラーや矢羽根デザイン、ロゴマークをオマージュ。



* 1. レトロフィットEVバス

レトロフィットとは、既存の構造や機器を新しい技術や部品で更新・改良すること。

レトロフィットEVバスとは、既存のディーゼルバスのエンジン部分をEV化し電気バスに改造することで、当社車両では既存のディーゼルバス比で年間約48%のCO2排出削減を見込む。